

令和7年度 第1回愛西市地域ケア推進会議 会議録（概要）

会議名称	愛西市地域ケア推進会議
開催日時	令和7年11月12日（水） 午前10時00分から午前11時40分
開催場所	愛西市役所 災害対策本部兼会議室1・2
出席委員	平澤秋子 田中まさみ 山内嘉丈 堀田宗一 佐藤和子 浅野弥生 日高由紀 鷺野明美 辻裕子 東元子 栗畑由紀夫 青木弘光 日永正美
欠席委員	三和田篤 青木弘光
事務局	保険福祉部長 田口貴敏、保険福祉部参事 青井優、高齢福祉課長 八木久美子、 高齢福祉課 猪飼隆善、城安代、浮貝将成、山田里子、保険年金課 堀田紫津子、 佐屋苑地域包括支援センター 水谷幸代、社協地域包括支援センター 渡辺秀 和、社協佐織地域包括支援センター 中野重利
協議事項等	会議内容 （1）正副委員長の選出 （2）高齢者の支援をする担い手について （3）その他
公開／非公開 の別	公開
非公開の理由	
傍聴人	なし
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 愛西市地域ケア推進会議名簿 ・ 資料1 愛西市地域ケア推進会議設置要綱 ・ 資料2 愛西市の主な高齢者支援の担い手 ・ 資料3 地域課題解決のための検討 ・ 参考資料 令和7年度あいさいさん祭りについて

審 議 経 過

発言者	内 容
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会 ・ 傍聴人の報告 ・ 自己紹介 ・ 資料確認 ・ 保険福祉部長あいさつ ・ 議題（１）正副委員長の選出 委員から推薦により鷺野明美委員を委員長に選任
委員長	<p>委員長あいさつ 委員長より副委員長に佐藤和子委員を指名</p> <p>それでは、次第に基づき議事を進行します。 議題（２）高齢者の支援をする担い手について、１項目ずつ事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	資料２ 生活支援サポーターについて説明
委員長	ただいま、事務局より説明がありました。 ご意見、追加情報、ご質問等がありますか。
委員	生活支援サポーターの養成講座で６名の方が受講し、受講者が活躍していただける場所を一緒に考えて作っていききたい。
委員	訪問型サービスＢでごみ出しを年１５０回程度行っているが、資料にあるとおり新しいメンバーが見つからないため、こまめに声をかけて新しいメンバーを見つけていききたい。
事務局	資料２ 運転ボランティアについて説明
委員長	ただいま、事務局より説明がありました。 ご意見、追加情報、ご質問等がありますか。
委員	基本的に車に乗せる時の乗降前後の支援ですが、主な活動の内容は、通院や買い物、図書館などの公共施設等へ移動する際に利用されています。受診の間は、一緒に回ってお話する方や、自分の用事を済ます方もいます。
委員長	利用実績が令和６年度９名は、利用した人が９名ですか。運転ボランティアとして活動した人が９名ですか。
委員	利用者が９名です。
委員	実際に利用された方が、今年度は１１名とありますが、その中でリピーターはいますか。
委員	受診後、次の受診の予約をしていくという利用者もいます。
委員	損害等の保険についてはどのような状況でしょうか。

事務局	訪問型サービス D で活動している際の乗降時の介助等における事故については、市で保険に加入しています。ただし、運転中の事故については、市の加入している保険の適用外となりますので、ご自身の車の保険を適用していただきます。
委員	利用できる方はどのような方ですか。制限なく、希望をすれば利用できるものでしょうか。
委員	訪問型サービス D は事業対象者及び要支援 1・2 の方となっております。ボランティアとして活動している団体もありますので、事業対象者及び要支援 1・2 以外の方でも利用できることもあります。 ただし、ボランティアとして実施しているため、自宅から車までの移動はご自身で行っていただかなければならず、身体介護までは行いません。
委員	活動されている方の男女比についてはどのような状況でしょうか。
委員	男女比については、女性が多く、男性が少ないという現状です。
事務局	資料 2 愛西市ボランティアセンター登録の個人/団体ボランティアについて説明
委員長	ただいま、事務局より説明がありました。 ご意見、追加情報、ご質問等がありますか。
委員	補足情報として、ボランティアセンターが愛西市社会福祉協議会にありますが、なかなかうまく機能ができていないため、今年度ボランティアセンターの機能強化に取り組んでいます。 昨年度、ボランティア養成講座を実施し、7 名が参加されました。7 名のうち 1 名が広報、残り 6 名が声をかけて集まったという現状です。
委員	昨今どこも人手不足でヘルパーが集まらず、高齢化が進むこともあり、事業所も困っている現状です。要支援 1・2 のほとんどが掃除と買い物です。生活支援サポーターや運転ボランティアがうまく機能すれば、ヘルパーが介護の必要な方へ支援をすることができるようになるため、ボランティアの数を増やすことは切なる願いです。 漠然とボランティア募集と言うと、ボランティアで生活支援として何をすればよいかとなってしまいます。ボランティアはしたいけど、ボランティア養成講座はハードルが高くなってしまいます。 ボランティアといってもごみ出しや介護、運転など様々なことがあると思いますが、現状の募集はどのように行っているのでしょうか。
委員	ボランティアとは何かを知ってもらうために、色々なイベントで周知したり、高校に学生ボランティアとして声をかけたりしています。高校生 22 名の方から参加の希望がありました。 募集については、広報紙や HP、声かけなどで行っていますが、ボランティアを知ってもらうところから始める必要があるので、若い世代の方達に声をかけたり、アンケートの回答から興味を持ってもらえたことに関して直接アプ

	ローチをしています。
委員	高校生を含めて、大学生などにも実施していただくというのも視野に入れていただけるといいです。
委員長	過去に、愛西市の地域福祉計画策定の際にアンケートを実施し、対象者 2,000 名に対し、回答者 1,000 名程度でした。その内、4,500 名が地域活動に参加したいと回答していた。その内訳で多かったのが、学生、自宅にいる方、高齢者の方が多かったと記憶している。今の若い世代には、これから地域ボランティアに係る可能性が高い方たちなので、その方たちにアプローチをしているのだなと実感しています。
事務局	資料 2 老人クラブについて説明
委員	老人クラブの活動として生活支援や友愛活動があり、会員同士でごみ出しや草刈り、電球交換といったことをしている団体もある。また、一部の地区においては、移動販売にて買い物支援をしているという老人クラブがあります。
委員	友愛活動としては障害者施設にカレーを年 1 回提供・ひとり暮らし高齢者の訪問、生活支援としては電球の交換、清掃奉仕としては公園や神社の草刈り、文化学習活動では、しめ縄作り、スポーツサークルとしては e スポーツなどを実施しています。しかし、老人クラブに入る人も本当に少なく、声をかけるが難しい状況です。
事務局	資料 2 見守り訪問員/総合事業について説明
委員長	ただいま、事務局より説明がありました。 ご意見、追加情報、ご質問等がありますか。
委員	見守り訪問が総合事業としてあることを知りませんでした。 家族の方々と疎遠にしている方でデイサービスを使っている人等も見守り訪問員という形に繋がれたらよいなということを実感しました。
事務局	資料 2 シルバー人材センターについて説明
委員長	ただいま、事務局より説明がありました。 ご意見、追加情報、ご質問等がありますか。
委員	2 点質問があります。 1 点目、233 名の登録者の中で、実際に、活動されている方はそのうちのどれぐらいですか。 2 点目、福祉家事援助サービスの件数が 10 件未満だったという説明がありました。それは実際に対応できる会員さんが少なく精一杯という感じなのか、それとも対応できる会員さんたくさんいるけども、依頼がないということでしょうか。
事務局	1 点目について、233 名については令和 7 年度の数字になりますので、令和 6 年度の会員数 219 名をもとに説明します。令和 6 年度で活動されている方は 215 名となっております。4 名の方につきましては、体調不良等で、需要と供給のニーズのマッチングがうまくいかなかったため、受託できなかったと

	<p>いう方になります。ほぼすべての会員が活動しているという現状です。</p> <p>また２点目につきまして、福祉家事援助サービスについて、増加した場合の対応につきましてですが、受付は可能ですが、相談件数が年に２、３件と少ないという現状となっておりますので、受託はできるという認識です。</p>
委員	<p>その場合には、周知方法についてもう少し工夫が必要かなと感じました。</p>
事務局	<p>資料２ ご近所つき合いについて説明</p>
委員長	<p>ただいま、事務局より説明がありました。</p> <p>ご意見、追加情報、ご質問等がありますか。（ご意見等なし）</p> <p>それでは資料（３）地域課題解決のための検討について、事務局より説明を順番にお願いします。</p>
事務局	<p>資料（３）地域課題解決のための検討の「現状」について説明</p>
委員長	<p>ただいま、事務局より説明がありました。</p> <p>ご意見、追加情報、ご質問等がありますか。</p>
委員	<p>デイサービスでコロナ以前は一般の方でハーモニカをさせてくださいなどの積極的な方がすごく多かったが、コロナ以降は感染拡大対策として密にならないなどを実施したため、一般の方が参加できなくなったり、遠慮するような感じになっています。</p> <p>自分たちの目線で興味があるないに関わらず、ボランティアに声をかければ意外とやってくれる方はいるのではないかと思います。一般の方が参加するというのは本当にみられなくなっているのが現状だと思います。</p>
委員	<p>先ほどのシルバー人材センターの福祉家事援助サービスの相談件数が少ないという事実をケアマネジャー達に知ってもらい、シルバー人材センターが担える部分については、シルバー人材センターへ問い合わせをすると、介護の方の確保に広がると思いました。</p> <p>ボランティアの具体的な募集の仕方を見直すとよいと思います。事業所としても担い手が募集してもこないの、初任者・現任等を自分の事業所で育てるということも検討をしなければいけないと思っています。</p>
事務局	<p>資料（３）地域課題解決のための検討の「解決案」、「必要な支援」について説明</p>
委員長	<p>ただいま、事務局より説明がありました。</p> <p>個人でできることについて、ご意見、追加情報、ご質問等がありますか。</p>
委員	<p>勇気を持って申し込む前に、自分の住まいの地域の現状を自分事として知ることが大切だと思います。</p> <p>一般的にボランティアと聞いて想定するのが、災害の手伝いのような大きなことのイメージが強いと思うのですが、住んでいる地域の現状が分かれば、協力できることがあるのではないかという考えになると思いました。</p>
委員	<p>ボランティアをされている方の負担を減らし、無理なく持続させることが大</p>

	<p>事だと思うので、活動の見える化をしていくとよいと思いました。トラブルがあった場合の対応について心配する方も多いと思うので、サポートの情報発信もあるとよいと思いました。</p> <p>また、雰囲気作りも大切だと思うので、楽しい雰囲気の活動ができるとよいと感じました。</p>
委員長	事業所としてできることについて、ご意見、追加情報、ご質問等がありますか。
委員	地域課題として担い手がどのくらい不足しているのか、どのくらいの担い手が現れると充足するのか、需要と供給が満たされるのかという目標設定を明確にすることが大切だと思います。募集したいボランティアをピンポイントで狙って募集をしないと難しいので、どれだけ集める必要があるのかを明確にすることが大切だと感じています。
委員	<p>ボランティアを行う前に、施設に見学に来てもらい、何をしたいのかを明確にするとボランティア自体の輪が広がると思います。</p> <p>生活支援サポーターも同様に、行うことを明確にするとその方によりあったボランティアの仕方が考えられると思いました。</p>
委員長	<p>事業所としての観点からご意見をいただきました。</p> <p>いただいた意見について、作業部会で一度検討していただき、第２回の地域ケア推進会議につなげていただければと思います。</p> <p>次きまして議題（３）その他について事務局よりお願いします。</p>
事務局	参考資料 令和７年度あいさいさん祭りについて説明
委員長	<p>その他について、他にありますでしょうか。（なし）</p> <p>限られた時間でご意見、質問をありがとうございました。</p> <p>進行を事務局へ戻します。</p>
事務局	<p>長時間に渡りましてご意見等いただきまして誠にありがとうございました。</p> <p>第２回の地域ケア推進会議につきましては２月頃を予定しております。</p> <p>以上をもちまして本日の会議を終了いたします。</p>